

# 市民と市政をつなぐ 小田原市議会議員 しのはら弘



手づくり  
市政情報紙

# かけはし

発行者 篠原 弘 / 〒250-0858 小田原市小台322-5 / TEL 090-1652-3900 / E-mail shinohara.hiroshi1116@gmail.com

市では、現地建替えが最適とする理由を①市内各所からの救急患者の搬送時間の観点から適している②小田原駅からの路線バスの運行も多く、大雄山線や小田急線の駅からも徒歩圏内にある③ヘリポートの配置において実用的な飛行経路が確保できる④多くの駐車台数や設備・機器の増設にも適切に対応できる広さが確保できる⑤用地取得が

■救急搬送や利便性などから現地在最

## 令和7年度の開業に向けて 新小田原市立病院 現地建替え 最適と判断

市は、施設や設備が老朽化している小田原市立病院の建替えに向け、平成30年12月に策定した再整備基本構想で、建設場所は「現地建替えから検討する」と方向性を定め、昨年6月に「基本構想で示した規模の建物は現地で建築できる」との検討結果をまとめました。この結果を踏まえ、現地建替えに求められる要件を具体的に抽出し検証した結果、建替えは現地在最との判断を1月28日の市議会厚生文教常任委員会で示しました。

不要で事業期間の短縮や事業費を抑制できる⑥工期に影響する段階的な建設工事不要である。としています。

■騒音対策が大きな課題

新病院が既存病院に隣接して建設されることから、建設工事の騒音対策が大きな課題となります。市では、敷地内建替えの実績があり、騒音対策に優れたノウハウを有する業者を選定するなどして対応するとしています。

## 令和2年4月 市立病院駐車場有料化

市立病院では、自動車での来院者の円滑な受診と周辺道路の混雑緩和のため、駐車場の有料化を本年4月から実施します。駐車場の有料化にあたり、民間の駐車場運営のノウハウを活用するため、昨年12月に公募型のプロポーザルを実施し、タイムズ24株式会社を仮受候補者に選定しました。平成30年度の調査では、午前9時から午前10時までの駐車場入庫待ちは、ピーク時にロータリ内約30台、県道上の右折待ち約10台、左折待ち約20台となっています。

▼外来の方 最初の30分 無料/次の3時間200円/以後60分ごと200円/上限1日1000円  
▼お見舞いの方 最初の30分無料/以後60分ごと200円/上限なし  
▼一般の方 最初の30分無料/以後60分ごと400円/上限なし



## 市政あれこれ

### ◆人口減少 18万人台目前

小田原市の推計人口が、本年1月1日現在で19万22人となり、間もなく18万人台となります。小田原市の人口は1999年（平成11年）の20万692人をピークに減少を続け、21年間で約1万人減少。国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計では、2040年には15万8291人まで減少すると予測しています。

### ◆老朽化の学校給食センター建替えへ

市内飯泉に設置されている小田原市学校給食センターは、現在、中学校8校分の約3,800食を調理していますが、築47年が経過し、施設の老朽化が著しく、多くの調理備品等も耐用年数を超えています。このため市では、建替えに向け、具体的な設備や整備地等の検討を円滑に行うため、令和6年度中の供用開始を目指して整備基本構想を策定しました。



昭和47年に建設された小田原市学校給食センター

### ◆冠水した酒匂川スポーツ広場復旧へ

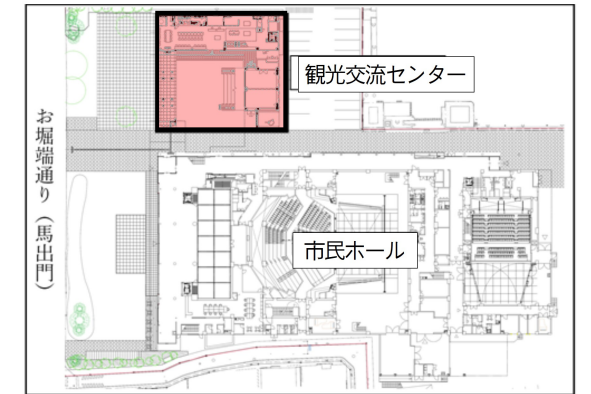
昨年10月の台風19号で酒匂川が増水し、酒匂川スポーツ広場が冠水。グラウンド表土の流出や土砂、流木等の流入などにより全面が使用不能となりました。市では、河川管理者である神奈川県と協議した上で、復旧工事費1億1000万円の補正予算を計上。復旧完了は本年3月末の予定です。



台風19号の増水で被害を受けた酒匂川スポーツ広場

### ◆観光交流センター整備 市民ホールに隣接

市では、市民ホール（本町地内に建設中）に隣接して観光交流センターを整備します。同センターの1階では、カフェで休憩しながら見学先や回遊ルート、食事や買い物の店舗情報を得ることができます。2階は、屋外のテラスが設けられ、小田原城と城址公園を望むビュースポットとなります。建築面積574.55㎡、延床面積442.60㎡の鉄骨造で地上2階建て、本体整備費は約3億円。令和3年5月の北條五代まつりに合わせてプレオープンする予定です。



観光交流センター 配置図

### ◆新幹線ビル建替えへ

昭和50年5月に竣工された新幹線ビルは、築後40年以上が経過し老朽化も進んでいる中、同ビル管理組合において平成30年11月に建替えが決議されました。これを受け市では、令和元年7月に「マンションの建替え等の円滑化に関する法律」に基づくマンション建替え組合の設立を認可し、同法による建替え事業として進められることとなりました。新たな建物は、鉄筋クリート造17階建て、地下1階で、住宅戸数は187戸で98戸増加する計画です。この建替えには、優良建築物等整備事業として、補助対象部分（共用部分など）に国が3分の1、県が6分の1、市が6分の1を補助します。



新たな新幹線ビル（イメージ）

現在の新幹線ビル（15階建て 地下1階）

\*「かけはし」は市政の主な動きをピックアップしてお知らせする市政情報紙です。太い文字が情報のポイントです。

\*「かけはし」の新聞折込み等は不定期です。ご希望の方はお送りしますので、1面上段の発行者までご連絡ください。



台風19号の際の避難場所

小田原市は、10月12日午前7時、市全域に警戒レベル5段階のうち、上

### 警戒レベル4を発令

令和元年10月12日、大型の台風19号は県西部を中心に記録的な大雨をもたらし、小田原市では1日の降雨量が240ミリ、最大風速は14.8m/sに達し、いずれも観測史上1位を記録。この影響で市内の河川の護岸崩壊や床上・床下浸水などの被害が発生しました。市では、午前7時に市全域に警戒レベル4の避難勧告を発令。各地区に設置された風水害避難場所には、過去最多の7118人が避難しました。今回の台風19号の襲来によって、小田原市の水害対策の課題や問題点が浮かび上がってきました。

## 台風19号 小田原を縦断 観測史上1位 1日降雨量240ミリ

「警戒レベル3」は、避難に時間がかかる高齢者や障がいのある人などが避難を始め、その他の人は避難を準備するために発令されるものです。しかし、市はレベル3を発令せずに、レベル4のみ発令しました。

### 警戒レベル3発令せず

から2番目の対象地域全員避難が必要となる「警戒レベル4」の避難勧告を発令しました。

### 主な被害状況

- ・負傷者…傷者5名
- ・住宅…床上浸水60件・床下浸水111件
- ・河川…山王川、森戸川、早川等の護岸崩壊
- ・公共施設…酒匂川スポーツ広場等の冠水  
前羽福祉館の越波による浸水
- ・断水…21世帯
- ・停電…1700軒

避難対象者(19万1887人)の避難場所への避難率(立ち退きや垂直避難など、他の避難方法を選択した人を除く)は3.7%で過去最高。また、最も多くの避難者が身を寄せた時間帯は

避難場所避難率 3.7%  
避難最多 19~20時

市では、レベル4の避難勧告の発令とともに、市内の小学校や公共施設等に避難場所を73箇所開設したところ、過去最多の7118人も避難者が身を寄せました。

### 避難場所に過去最多の7118人が避難

「体育館内へのテント設置についてルール化されていないかった」「ペットの避難のルールが明確でなかった」「授乳室や更衣室が設置されていなかった」などが挙げられます。

### 今後の対策

台風19号の襲来で浮かび上がった様々な課題の対策について、令和元年12月定例会で市の考えを質したところ、以下のような対策が示されました。  
▼浸水等防止対策  
公共下水道雨水渠(雨

ともある」と答えました。しかし、レベル3の発令がなく、風雨が強まっている中でレベル4の発令は、高齢者や障がいのある方々にとって、危険と隣り合わせの避難となるおそれがあり、安全な避難を促す5段階の警戒レベル導入の趣旨にそぐわないものです。

多くの避難者が身を寄せた避難場所の学校体育館では、運営上の課題が浮かび上がりました。

「一部の避難場所では避難者があふれかえった」「体育館内へのテント設置についてルール化されていないかった」「ペットの避難のルールが明確でなかった」「授乳室や更衣室が設置されていなかった」などが挙げられます。

### 避難場所の課題が浮上

避難行動要支援者一人ひとりの避難方法や支援内容などを決めておく「個別計画」の作成に向け関係団体と協議。

### 要配慮者の支援

避難行動要支援者一人ひとりの避難方法や支援内容などを決めておく「個別計画」の作成に向け関係団体と協議。

水きよ・雨水を通す排水路)整備及び河床のコンクリート化などの改良を行うとともに、県に対し、狩川などの二級河川の改修事業の推進と堆積土砂の計画的な掘削について要請。

▼要配慮者の支援  
避難行動要支援者一人ひとりの避難方法や支援内容などを決めておく「個別計画」の作成に向け関係団体と協議。

▼避難場所の運営  
避難場所運営マニュアルの見直しを行うため、自治会や市の関係部局と具体的に協議。

▼災害ごみ発生時の対応  
現行の「災害廃棄物等処理計画」が地震のみを想定していることから見直しに着手。

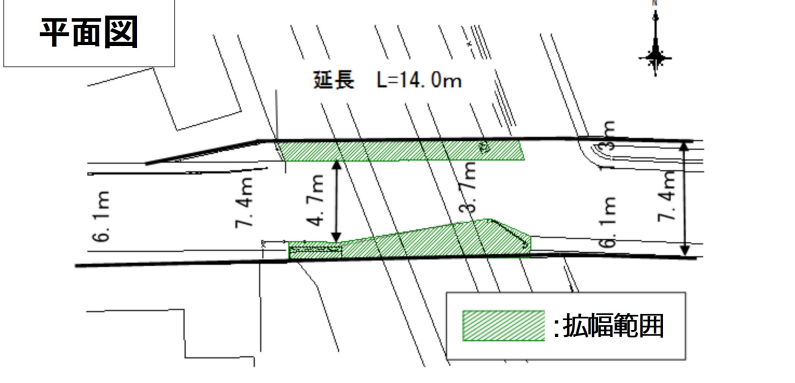
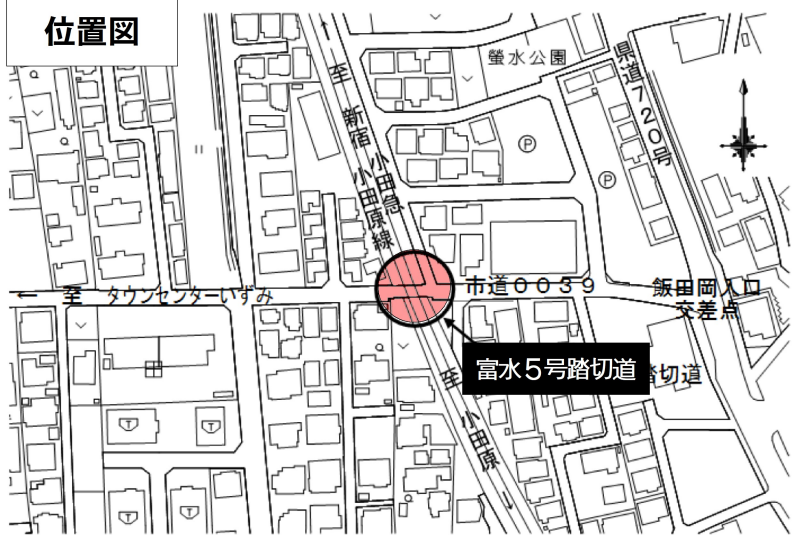
### 今後の総合的水害対策

河川や海岸などのハード面の整備、風水害の避難方法の周知、避難場所の運営体制等が課題となったことから、これらを整理し、解決策を地域防災計画や水防計画に反映。

## 令和4年度完成予定

# 小田急線 富水5号踏切道 拡幅へ

小田急線の富水5号踏切道は、踏切前後の道路幅員に対し踏切道の幅員が狭く、先入車を優先する片側交互通行を余儀なくされ、朝夕の通勤・通学時間帯は交通渋滞が慢性化しています。これまで地元富水地区自治会連合会や飯田岡本村自治会、飯田岡東自治会では、市に対し拡幅を強く要望し、市も小田急鉄線と積極的な協議調整を続けてきましたが、事業実施には至りませんでした。しかしこのたび、同社に拡幅の緊急性が理解され、事業協力が得られました。拡幅されることで、待望の交互通行と歩行空間が確保できます。今後、令和2年度に実施設計、令和3年度から工事着手となり、令和4年度に完成予定です。



## 「漁港の駅TOTOCO小田原」オープン

小田原漁港の西側エリアに市が整備を進めていた「漁港の駅TOTOCO(トトコ)小田原」が完成しました。11月22日のグランドオープンには、地元の海の幸を求めて早くから多くの人々が詰めかけました。漁港の駅は、小田原の水産業の振興と新たな観光拠点をめざして整備されたもので、建設事業費約7億2800万円、年間来場者50万人、売上額7億5000万円を目指しています。



お刺身ビッフェ(一例)

- 1階フロアー  
鮮魚、活魚、水産加工品、農産物の販売・デモキッチン・イベント広場など
- 2階フロアー  
魚介食堂・魚介イタリアンレストラン・眺望テラス・多目的室・情報発信コーナーなど
- 3階フロアー  
お刺身ビッフェレストラン・眺望テラス



漁港の駅TOTOCOおだわら

## 早川臨時観光案内所 開設

TOTOCO小田原の開業に合わせ、土・日曜日、祝休日に早川駅改札そばのJA早川支店奥に「早川臨時観光案内所」が開設されました。運営は、市から委託された小田原ガイド協会が行い、周辺の観光情報や見どころを紹介するほか、ガイドツアーも行います。  
▼場所  
早川駅改札そばのJA早川支店奥  
▼営業時間  
年末年始を除く土・日曜日・祝休日 午前9時30分~午後4時00分  
▼営業内容  
・早川周辺などの観光案内・ガイド  
・レンタサイクル(電動付き)貸出

\*「かけはし」は「詳細に分かりやすく」を心掛けています。お気づきの点やご意見等がありましたら、ぜひお寄せください。

\*「かけはし」は公開されない情報や見えない情報もお知らせする市政情報紙です。